



生活改善・学力向上プロジェクト

1年間で大きな成果が あらわれています

▲有帆小学校で百ます計算の指導を行う陰山英男氏（平成 18 年 6 月 5 日）

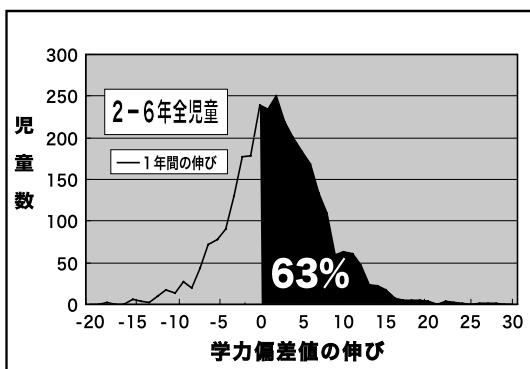
学力検査から常識を覆す結果が出ました^{くつがえ}

「心と体と脳の土台づくり」「意欲と自信を持つ子」を育てるため、山陽小野田市では、昨年度から市内全小学校で、「早寝・早起き・朝ごはん、テレビも消して家族団らん」といった生活習慣の改善、「読み・書き・計算」などの基礎基本の徹底反復をモジュール授業として行う「生活改善・学力向上プロジェクト」に取り組みました。

一方で、この1年間の客観的な評価のため、昨年5月と今年2月に全児童を対象に、全国標準学力検査、知能検査および生活習慣調査を行いました。その中で、全体としては次のような成果が得られました。

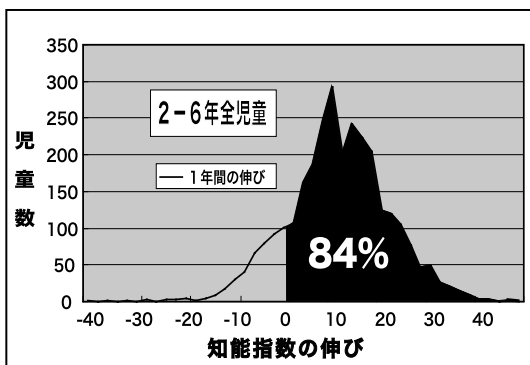
- 学力（国語と算数の平均）は、偏差値で49.9から52.1に上昇し、全体でも2ポイント以上という大きな伸びを示した。
- 知能指数は、102から111に上昇し、全体でも9ポイントという驚異的な伸びを示した。

「多くの児童が一定期間で、これだけ学力が上がったことは過去に前例がない」とこの結果に驚いているのは、総合指導をいただいている陰山英男氏。また、「知能指数が平均で110を超えるのは、常識を覆す結果だ」とも言われています。予想を超える大きな成果が学力検査のデータから証明されました。



【学力の伸び】

63%の子どもが伸びました。（黒塗りの部分）



【知能指数の伸び】

84%の子どもが伸びました。（黒塗りの部分）